

【マーケット振り返り】

株式市場は、米トランプ大統領による関税政策の先行き不透明感が再び強まったことを背景に、主要銀行株を中心に外国投資家の売りが加速し、続落しました。

債券市場では、インドネシア国債利回りは、週前半に米国債利回りの動きに連動して、低下（価格は上昇）しました。週後半には、アイルランが経済担当調整相が米国との貿易協定について、「合意に近づいている」との楽観的な見解を示したことが好感され、利回りはさらに低下しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

為替市場では、2025年度の財政赤字が当初想定より拡大するとの見通しをスリ財務相が中間報告で示した一方で、アイルランが経済担当調整相が米国との貿易協定は合意に近づいていると発表したことが市場心理を支え、週を通して落ち着いた値動きとなりました。ルピアは前週末比で、対米ドルでは小幅上昇、対円では小幅な下落となりました。

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移（2023年12月29日～2025年7月4日）



前週

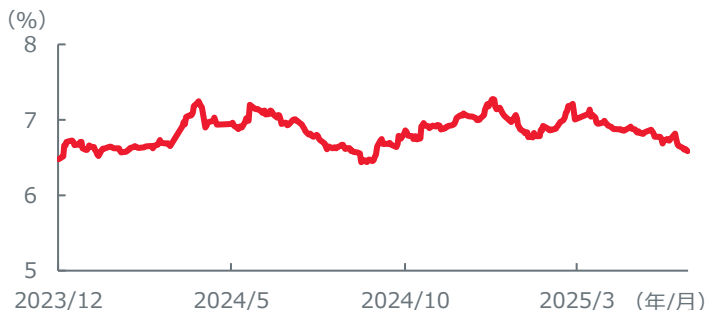
2025/6/26	2025/7/4	変化率
6,897.40	6,865.19	-0.47%

年初来

2024/12/30	2025/7/4	変化率
7,079.91	6,865.19	-3.03%

※6月27日は祝日のため休場。

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2023年12月29日～2025年7月4日）



前週

2025/6/26	2025/7/4	変化幅
6.658	6.584	-0.074

年初来

2024/12/31	2025/7/4	変化幅
6.997	6.584	-0.413

※6月27日は祝日のため休場。

【為替市場】インドネシアルピアの対円レート*の推移（2023年12月29日～2025年7月4日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2025/6/27	2025/7/4	変化率
0.8925	0.8918	-0.08%

年初来

2024/12/31	2025/7/4	変化率
0.9714	0.8918	-8.19%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。